

## 「親子一緒に育っていけるために拠点施設ができること」

### 母子保健事業の目指すところ

- ① 親子に寄り添う支援  
(親子に対する安心感の提供、切れ目ない支援の提供)
- ② 親力と子力の育成  
(子どもが健やかに成長していくための支援、親子の愛着形成支援、地域全体の子育て力の向上)
- ③ 持続可能な母子保健事業の構築  
(DX化、専門職の確保、継続的専門相談の提供)

### 第2回有識者会

- 向井美穂委員の「相談支援の基本」
- 柳澤明子委員の意見

最近、行政、国が色々なメニューを用意していて、それはそれでいいのですが、サービスはたくさん用意して、お母さん大変だから一緒に頑張ろうというスタンスがなくなってしまうと、お母さんが親になれないと思います。最近では2人目、3人目を産んでも初めての子みたいな人もいます。周りがやってくれるから、みんながやるからお母さんはやらなくていいよ、というのではない、サービスを充実させるだけで終わらないのが大事だと思います。

【議題①】「親力の引き出し方」と「子力の伸ばし方」

【議題②】行政が実施する事業や相談室利用への抵抗感をなくすためにできること